

■教員情報

氏名／name		小田 慈／ ODA MEGUMI
職 位		副学長、健康科学部長、保健管理センター長、特任教授
所 属		健康科学部
学 位		医学博士
免許・資格		医師免許
実務経歴		小児科臨床医としての実務経験を持つ
専 門		小児科学、血液・腫瘍学、感染免疫学、造血細胞移植、小児保健、母子保健
授業	大学 (助産学専攻科含む)	健康科学Ⅰ（健康医療論）、Ⅲ（基礎病態学）、Ⅳ（病気の治療）、小児の健康と疾患、子どもの保健、新生児・乳幼児学、病弱者の心理・生理・病理、重度・重複障害者教育総論
	大学院	—
研究テーマ・研究業績		<p>【研究テーマ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 白血病をはじめとする小児がんの基礎的・臨床的研究。 2. 免疫不全症などの小児の難治性疾患に関する基礎的・臨床的研究 3. 予防接種ワクチンなど感染・免疫に関する基礎的臨床的研究 4. 子どもの心身の健康・生活環境・育児支援・虐待やいじめなど母子保健・小児保健に係わる研究 <p>【研究業績】</p> <p>主要著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田 慈：第10章 貧血. 佐地勉, 竹内義博, 原寿郎編, ナースの小児科学 改訂第6版. pp:163~166, 中外医学社, 2015. ・小田 慈：総論8、各論9血液疾患. 白木和夫, 高田哲編, ナースとコメディカルのための小児科学第5版. 日本小児医事出版社, pp:11~12, pp:218~222, 2016. ・小田 慈：Ⅲ小児保健と社会小児医学. 清野佳紀, 小田 慈編, 小児科学テキスト 第5版. 南江堂, pp:31~56, 2017. <p>主要論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Iwai N, Shimada A, Oda M 他3名: Anxieties felt by CCSs after treatment and the need for continued support. <i>Pediatr Int.</i> 59 (8) ,1-11, 2017. ・Masako Niinuma, Takaaki Miyake, Megumi Oda: Correlation between Time Spent Using Information Devices and Bone Strength among High School Students. <i>Journal of Preventive Medicine</i>, 11(1), 16-18, 2016. ・Shigeru Suga, Bin Chang, Megumi Oda 他13名: Nationwide population-based surveillance of invasive pneumococcal disease in Japanese children: Effects of the seven-valent pneumococcal conjugate vaccine. <i>Vaccine</i>, 33(45):6054-6060, 2015. ・Sachi Sakaguchi, Megumi Oda, Yuichi Shinoda 他1名: Parents' Perception of Pediatric Cancer Centers in Japan. <i>Pediatric International</i>. 56:196-199, 2014. ・Washio K, Oka T, Oda M 他1 2名: Gene expression analysis of hypersensitivity to mosquito bite, chronic active EBV infection and NK/T-lymphoma/leukemia. <i>Leuk Lymphoma</i>. 58(11), doi:10.1080/10428194.Epub 2017. ・Horibe K, Yumura-Yagi K, Oda M 他1 2名: Long-term Results of the Risk-adapted Treatment for Childhood B-Cell Acute Lymphoblastic Leukemia: Report From the Japan Association of Childhood Leukemia Study ALL-97 Trial. <i>J Pediatr Hematol Oncol</i>, 39(2):81-89, 2017.

・ Muraoka M, Okuma C, Oda M 他 1 1 名: Adults with germline CBL mutation complicated with juvenile myelomonocytic leukemia at infancy. J Hum Genet.61,523-526,2016.

研究キーワード

小児がん、白血病、多施設共同研究、感染免疫、小児保健、

地域活動

岡山県社会福祉審議会委員ならびに児童福祉専門分科会委員長、岡山県難病対策協議会委員、岡山県感染症対策委員会委員、岡山県・岡山市・倉敷市小児慢性特定疾病審査会委員長、新見市との連携事業Babyスクール講師、鳥取県日南町や岡山県井原市における子育て支援事業など

URL

	科目名	履修 学年	単位 数	学 科	授 業 内 容
実務経験と授業科目との関連性 (担当する科目に対して、どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)	健康科学Ⅰ	1	1	共通	健康・医療論（オムニバス講義）のなかで、「心身の発達と心のケア」を受け持つ。小児科専門医としての40年以上の診療経験（香川県立中央病院小児科・岡山大学病院小児科）と知識をもとに成長・発達期にある小児の抱える様々な問題について受講者一人ひとりに自ら考える力を養成することを目標に講義を行う。ディスカッションを重視する。
	健康科学Ⅲ	1	1	共通	基礎病態学（オムニバス講義）のなかで、「がんの基礎病態学」、「花粉症とアレルギー疾患の基礎病態学」を受け持つ。小児科専門医としての40年以上の診療経験（香川県立中央病院小児科・岡山大学病院小児科）と知識をもとにがんの基礎病態と花粉症をはじめとするアレルギー疾患の基礎病態について講義を行う。ディスカッションを重視する。
	健康科学Ⅳ	1	1	共通	病気の治療（オムニバス講義）のなかで、「ワクチンと予防接種」を受け持つ。小児科専門医としての40年以上の診療経験（香川県立中央病院小児科・岡山大学病院小児科）と知識をもとにワクチンの免疫機序と効果、予防接種の社会的意義について講義を行う。ディスカッションを重視する。
	小児の健康と疾患	2	1	看護	15コマのうち2コマ（小児の血液・腫瘍疾患、小児の神経疾患）を受け持つ。小児科専門医としての40年以上の診療経験（香川県立中央病院小児科・岡山大学病院小児科）と知識をもとに該当する疾患群について講義を行う。ディスカッションを重視する。
	新生児・乳幼児学	1	1	助産学専攻	15コマのうち2コマ（新生児・乳幼児の病態生理や疾患）を受け持つ。小児科専門医としての40年以上の診療経験（香川県立中央病院小児科・岡山大学病院小児科）と知識をもとについて講義を行う。新生児・乳幼児の病態生理や疾患について講義を行う。ディスカッションを重視する。
	子どもの保健	2	1	健康保育	小児保健（健康管理、予防接種、疾病への対応、感染管理、発達障害、医療的ケア、児童虐待など）について、小児科専門医としての40年以上の診療経験（香川県立中央病院小児科・岡山大学病院小児科）と知識をもとについて講義を行う。ディスカッションを重視する。
	病弱者の心理・生理・病理	2	2	健康保育	15コマのうち9コマを受け持ち病弱者の心理・生理・病理について、小児科専門医としての40年以上の診療経験（香川県立中央病院小児科・岡山大学病院小児科）と知識をもとについて講義を行う。ディスカッションを重視する。
	重度・重複障害者教育総論	2	3	健康保育	15コマのうち2コマを受け持ち重度の心身障がい児への医療的理理解、ケアについて、について、小児科専門医としての40年以上の診療経験（香川県立中央病院小児科・岡山大学病院小児科）と知識をもとについて講義を行う。ディスカッションを重視する。